

日刊 發行編輯人 川崎文治 本社印刷所 常陸毎日印刷所

常新新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元

印刷部 電話六三〇番

刊夕日七月一

常識論壇 (二) 太田秀穂

是より後曾子孟子を始め 儒學者輩出し政治の改良を 旨としたれども滔々たる天 下の大勢は土地を併せ城を 取り人を斬ることのみを善 としし儒學者の理想の如き は頓と願みるべくもあらざ りき、漢時代天下治安を得 るに至りて帝王中には秩序 を維持する方便として儒學 を奨励するものあり、後世 之に倣ひ孔孟教を以て國教 とし孝悌忠信を奨励したれ

とも實際政治の懸引に至り たりとも見えざりき。士 人が試験に及第する爲めに 俸祿を得るが爲めに經書を 修め又は幼年者をして孝悌 の道を守らしむるが爲めに 儒學を奨励したるものはあ れども日常の政治上にも儒 教の禮式論のみ行はれて根 抵の精神は一向實行せられ ざりしものゝ如し。論語孟 子を坐讀し遠方より支那を 眺め居る者は支那こそ道徳 の本場なりと思ひ居りたる やも知るべからざれども實 際政治には儒教の精神など は行はれず否寧ろ反對の事 共流行せしと見るも至當と

すべし。試みに支那の真相 を知らんとすれば四書五經 を讀むよりも寧ろ史記、職 國策、水滸傳を讀みたる方 が一層効果あるべしと信ず るなり。

朝鮮は云ふ迄もなく大小 の政治支那を模範とし士庶 人の道徳も主として儒教に よりたるものなれども政治の 倫理化なるものが行はれた りやと云へば一向然らざる ものゝ如し、畢竟政治は儒 教の形式をとりたるのみに てその精神なく道徳なるも のは單に君子の裝飾に止ま り世用を爲さず

(つゞく)

梅毒 腸胃 専門 内科

淋病 婦人病 腸十二指腸病 専門 内科

松村病院 平南町

電話七〇一

好店 買イ

良品ヲ安ク賣ル

クースーリ

関内藥舖 薬剤師 関内栄助

電話四〇番

正札堂

の製品を召せ給

目下格安品豊

富に取揃へ申候

期節向既製品は 定評ある

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平南町(電話一七〇番)

森下商店

玩具 平一丁目

英國製ボイラ毛糸

一オンス十四錢

上オンス十六錢

一等品一オンス十八錢

特等品一オンス廿錢

米國製上等スコッチ

一オンス十二錢

原齒科醫院

平町土橋通り電話三二番

森永高級ビスケットの混合袋詰

二百三十枚にて

五十錢

うまい安い

森永伍助

目丁四町平

ヤトモツマ

番四一二話電

長男榮一儀病氣の處養生不相叶今 六日午後四時四十五分死去致候間 此段御通知申上候也

追て葬儀は來る九日午後二時自宅出棺平町 天理教會墓所に於て神式を以て執行可仕候

一月六日

父 藤田 榮七助

母 藤田 五彦

妻 小田 熊治

子 鈴木 清三郎

山崎 三郎

親戚 同代 藤田 榮七助

同代 藤田 五彦

友人 同代 鈴木 清三郎

山崎 三郎

磐城病院

平町田町本通り

入院隨時(電話二一四番)

内科。外科。婦人科。

小兒科。花柳病科。

平町紺屋町

藤沼醫院

電話五〇七番

高久病院

福島縣平町五丁目

吉田屋 染工場

名持 手入 拭供

御通知次第見本持参の上御伺ひ申します

院長 醫學士 高久 忠

副院長 新潟醫學士 赤羽 清

藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

平町田町 電話五二三番

降灰被害の... 賠償が圓滿に解決

磐城セメント會社が

一千二百圓を出して

を交付した

石城郡大浦村上仁井田部落 水田一帯に亘り昨秋收穫の 水稲が同郡四倉町磐城セメ ント會社工場からの降灰の たの被害を受け大減收とな ったとて

同部落で は箱崎熊

八外十二名の委員を擧げて これが調査をなした結果被 害面積二十九町歩餘その被 害額反當り最高九圓最低六 十錢となつてゐるといふの で過般同會社に對しこれが 損害賠償として金五千圓の 交付方を請求したが同會社 では右金額の一割五分の七 百五十圓を承認し

それ以上 の被害を

認めぬとの意見を固執して 動かなくつたが最近仲裁の 勞をとるものがあつて結局 會社側では一千二百圓で讓 歩してこの繁争は圓滿に解 決をつけた

小名濱の

捕鯨會社 付

農相から認可

小名濱築港埋立地の一部を 東洋捕鯨會社の捕鯨根據地 とすること及び小名濱漁業 組合の魚市場を設置する爲 めに貸付使用せしむるの件 は六日本縣知事宛に町田農 相より認可の指令あつたの で前記會社及び組合に指令

住宅組合 成る

植田町で組織

石城郡最初の 昨年中其の筋より設立認可 ありたる石城郡植田町有限 責任植田住宅組合に對し今 回一萬一千圓の資金が交付 されたので新年早々建築に 着手するといふが右は同郡 最初の組合で組合員は幸石 菊雄外十名である

平支所の

検米成績

俵数は増加

平穀物検査所管内石城郡昨 年十一月より本年一月五日 までの産米等級検査成績は

◇還御遙拜
◇回春諒闇
◇海上風靜
◇沙風を一路安かれ春
◇の旅
◇耕影



家庭欄

美人が家出

裏面に深い事情

高女出身の 平町字紺屋町鈴木榮治長女

ものを運ばねばなりません これは鱈干魚の買ふ時の呼 吸です。一般に鱈魚は製造 する時の魚の新鮮の程度如 何が良否のわかれる點であ ります。其他工場設備の整 否製造方法の巧拙、天候の 良否、気温等によつて製品 にそれ／＼差が出来るので あります。上等品は極めて

新春五日の乗降客

二割五分の減少

遺失物迄シミツタレに

平驛に於ける諒閣新春の五 日間における乗車人員は一 萬六千六百四十八人平均 は三千二百二十八人強で

石城の養蠶

愈よ發展

石城郡の本年度春夏秋蠶の 實收高は春蠶九萬四千八百 六十四貫夏秋蠶十萬九千九 貫合計十九萬五千九百六十 三貫之が金額は二百萬圓の 巨額に達してゐる、之を前 年度に比較すれば春蠶は糧 目に於て一二割の減收であ

萬歳が泣く

宿賃にも困つて

平町に入込んだ萬歳は八組 十七名で暮の三十一日來た ものである例年ならば三四 百圓から五六百圓の稼ぎす る者が今年には宿賃にも困つ てゐる有様である

メロン園視察

石城 郡泉村大字玉露農家志賀 澤之助氏所有メロン農園を 六七日の兩日に涉つて視察 すべく五日縣農商課森實技 手來平した

藤田氏令息死去

平 町田町藤田裁縫女學校長藤 田榮助氏令息榮一君は病氣 中の處六日午後四時四十五 分遂に死去した葬儀は九日 午後二時自宅出棺天理教會 墓所に於て神式を以つて執 行すると

平町に女子の

青年團を組織せよと

縣から昨日通牒

各地處女會が女子青年團と 改稱されたのは昨年末であ つたが平町には六日付を以 つて本縣より左記訓令配布 されたが女子青年團体の本 旨を一層普及徹底せしめる と共にます／＼健全なる發 達を遂げしめん趣旨による ものであると

訓令

女子青年團體は青年女子の 修養機關なり曩にその本旨 とする所を訓令に依違すべ き準則を示して堅實なる發

ることを期すべし

一、團體の設置

女子青年團は土地の状況に 依り參酌し市町村小學校通 學區域等を單位としてこれ を設置し必要に應じ支部を 設け又は聯合會を組織する こと

一、團體員の年齢

女子青年團體は概ね義務教 育終了より結婚に至るまで 又は年齢二十五歳に至るま での青年女子を以て組織す ることを常例とすること

一、團體の指導者

女子青年團體の指導には學 校長市町村長其他學識徳望 ある者の中に就き適當と認 めたる者をして之に當らし

め殊に學校職員篤志の婦人 等をして協力せしむること

一、團體の施設

女子青年團體の施設は土地 の状況團體員の年齢境遇等 を參酌し特に左の諸點に留 意すること

イ、家事職業に關する智徳 を涵養すると共に公共生活 に必須なる素養を與へ特に 實業補習學校の就學を奨励 し其の徹底を期すること

ロ、學校圖書館其他の教育 施設及婦人會等の團體と連 繫を密接にすること

ニ、體操競技等は特に女子 に適切なるものを選定する と共に保健衛生思想の涵養 に努むること

ホ、地方の良風美俗の維持 發達と共に生活の改善を期 すること

一、團體の維持

女子青年團體に要する經費 は成るべく會費團體員の勤 勞に依る収入金を以て之を 支辨すること

一、退會者との聯絡

結婚等に依り退會したる者 と雖も引續き團體との連繫 を持續せしむると共に其援 助に力を竭さしむること

募集

文藝其他投稿 を募集します